



別府市
beppu



日出町
hiji



大分市
oita



津久見市
tsukumi



由布市
yufu



わたしたち、
「おおいた」に
移住しました！

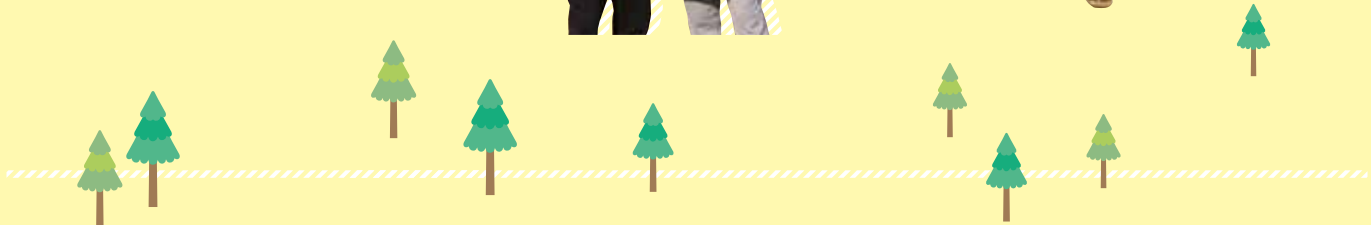
竹田市
taketa



豊後大野市
bungo-ohno



臼杵市
usuki



大分広域圏の いいところ good point!

5

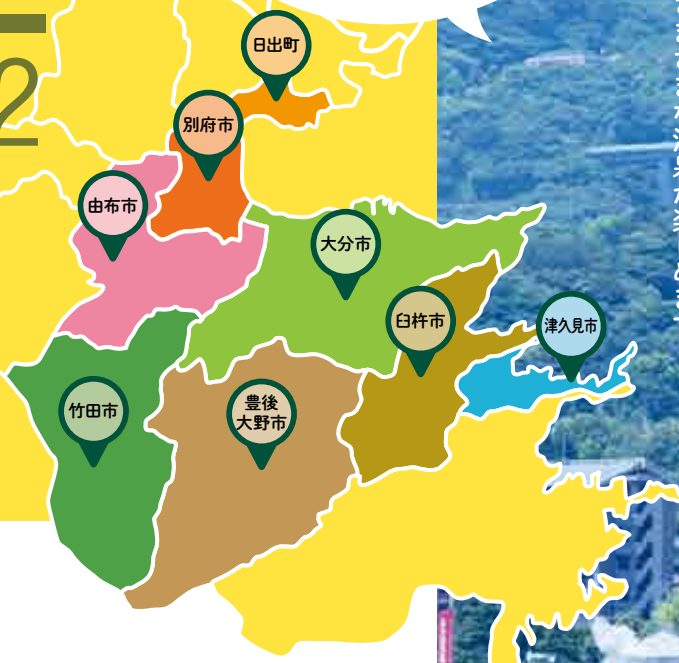


1 温泉がある

全国的に有名な別府や湯布院をはじめ、各地に温泉があり、源泉数・湧出量ともに全国1位のおんせん県おいたの中でもさまざまな温泉が楽しめます。

2 物価が安い

都会と比べて物価も家賃も安いから、出費が少なくてすみます。



大分市

都市機能と自然を兼ね備える県都

大分県内最大の都市であり、さまざまな産業が集積し、公共交通や大型商業施設などの都市機能も充実。便利な暮らしと自然の中の暮らし、その両方を実現できます。

人口 479,726人

竹田市

歴史と自然が豊かな農村回帰宣言都市

大分県南西部に位置するまち。岡城からなる城下町が中心地です。過疎化の克服、コミュニティの再生を目指し、全国に先駆け「農村回帰宣言」を行っています。

人口 22,861人

別府市

海、山に囲まれた日本一の温泉がある国際観光温泉文化都市

豊かな自然に、世界屈指の温泉資源が溢れており、年間800万人を超える観光客が訪れるほか、多くの医療機関があり、国際学生の比率が日本有数であるなど、さまざまな顔を持つまちです。

人口 119,741人

豊後大野市

「自然」と「便利」がいい距離にある「おいしい」まち

県都と隣接し、都会の町と田舎の距離がちょうど良い、大自然に恵まれたまちです。大分県を代表する豊かな農業地帯で、大分の野菜畑「豊後大野」と呼ばれるくらしい四季を通じてさまざまな旬の野菜が楽しめます。

人口 37,503人

「大分都市広域圏」って
なんだろう？

県都大分市、別府市、白杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町の7市1町でつくる広域圏で、お互いに協力し、住民が安心して暮らしていけるような魅力的な地域づくりに取り組んでいます。



3

子どもがのびのびと 育つ環境

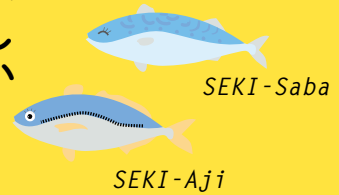
海・山・川の豊かな自然、
大きな公園もあって、
子どもの遊び場が
充実しており、子どもが
のびのびと育つ環境が
整っています。



4

食がおいしい (特に魚)

豊後水道で獲れる魚は新鮮で、
スーパーに並んでいる
お刺身も安くておいしい。
各地でとれる野菜も豊富で
移住者の先輩方は
「おおいたは食がいい」
と必ず言ってくれます。



5

広域圏内のアクセスがよい

国道や高速道路などの道路交通網が
整備されており、大分市と各市町は
車で最大1時間程度と、アクセスが抜群です。
自然に囲まれたスローな暮らし、
大型商業施設が充実した都会的な暮らし、
少し移動すればどちらも味わえます。



大分都市広域圏はこんなエリア

白杵市

恵まれた自然
素朴で人間味あふれる暮らし
日本の心が息づくまち「うすぎ」

人口 38,208人

津久見市

おおらかで豪快な人柄が
出迎える自然豊かなまち

人口 18,481人

複合大型遊具のある公園を中心として海と
山に囲まれたまちです。石灰鉱山やリアス海
岸、離島など独特な風土を有し、食は四季折々
の新鮮な海の幸を味わうことができます。

由布市

大自然を満喫できる、
癒しの由布市

人口 35,069人

国道210号線は、アクティブなドライブレ
ード。里山風景を眺めたり、大自然に圧
倒されたり、温泉につかったり…。寄り道し
ながら満喫できます。

日出町

「都会」過ぎず「田舎」過ぎない
暮らしを愛せるまち

人口 28,561人

国東半島の付け根に位置し、大分・別府方
面や大分空港までの交通アクセスが抜群。
緑豊かな鹿鳴越山系、豊富な湧水、別府湾
の眺望など自然に囲まれたまちです。

7市1町の魅力と 暮らしをいことどり contents

大分都市広域圏（7市1町） 早わかりガイド

大分都市広域圏はこんなエリア	01・02
アクセスMAP	03・04
大分の食とおすすすめスポット	05・06

7市1町の暮らしを紹介、 移住者インタビュー

大分市で暮らす	07
別府市で暮らす	08
白杵市で暮らす	09
津久見市で暮らす	10
竹田市で暮らす	11
豊後大野市で暮らす	12
由布市で暮らす	13
日出町で暮らす	14

なるほど！おおいたあるある！ 15

※上記の人口は平成28年12月末現在のものです



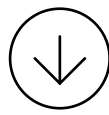
大分空港



MAP

大分広域圏マップ

凡例	市町村役場
	救急関連医療機関 公的病院等
II	温泉
大分のおすすめ スポット	道の駅
詳しくは p5,6へ!	高速道路
	JR
	港



ACCESS

主要都市までのアクセス



東京まで		飛行機で	大分空港～羽田空港 約1時間30分 大分空港～大分駅 バスで約1時間	大分空港～成田空港 約1時間40分
関西 (大阪・神戸) まで		飛行機で	大分空港～伊丹空港 約1時間	
		鉄道 (新幹線利用で)	大分駅～新大阪駅 約4時間	
		フェリーで	別府国際観光港～大阪南港 約12時間 大分港～神戸港 約12時間	
愛媛まで		フェリーで	別府国際観光港～八幡浜 約2時間50分 白杵港～八幡浜 約2時間25分 佐賀関港～三崎港 約1時間10分	
		鉄道 (特急利用で)	大分駅～博多駅 約2時間	
福岡まで		高速バスで	大分～福岡 約2時間20分	

大分市と6市1町の 距離と所要時間（自動車）

別府市	13.7km / 約30分
白杵市	32.9km / 約45分 ★
津久見市	38.9km / 約50分 ★
竹田市	41.8km / 約70分
豊後大野市	36.7km / 約60分
由布市	22.6km / 約45分
日出町	24.2km / 約45分



大分市

※市町村役場間の距離
★…有料道路



OITA
PREFECTURE



日出町 hiji 試



城下かれい

日出町を代表する高級特産品。別府湾内の海水と真水が混じる海域で育つため、泥臭さがなく、淡白で甘みがある味が特長です。



ハーモニーランド

「ハローキティ」をはじめ、サンリオキャラクターに会えるテーマパーク。家族みんなで楽しめるアトラクションのほか、華やかなパレードやショップのオリジナルグッズも人気。



糸ヶ浜海浜公園

オートキャンプ場や海水浴場などを備える総合レジャー公園。砂浜食堂やサブテラスなどの施設もあります。

大分市 oita



国立公園 高崎山自然動物園

野生のサルを間近に見ることができ、親子で毛づくろいする様子や、赤ちゃんザルの可愛い仕草に癒されます。すぐ近くには水族館「うみたまご」もあります。



関あじ 関さば

豊後水道の荒波にもまれ、一本釣りされる関あじ関さばは、大分市が全国に誇るブランド魚。引き締まった身の独特の歯ごたえが特長です。



大分市美術館

上野丘公園内に位置する「たのしんで・みて・まなぶ美術館」。コレクション展や特別展のほか講演会や各種講座も開催し、美術を気軽に楽しめる機会を提供しています。

臼杵市 usuki 試 民



国宝 臼杵石仏

平安時代後期から鎌倉時代にかけて彫刻された日本を代表する石仏群で、磨崖仏では全国初、彫刻としても九州初の国宝に指定されました。



二王座 歴史の道

岩を切り割って道を通した「切通し」と呼ばれる二王座歴史の道付近は、臼杵を代表する景観で、城下町特有の面影を残しています。



臼杵ふぐ

豊後水道の急流にもまれた臼杵のフグは、フグの中でも王様と言われる「トラフグ」で、手ごろな値段で一年中、贅沢な味わいを楽しめます。

津久見市 tsukumi



つくみん公園

大型遊具が子ども達に大人気の公園です。津久見湾に面し、工場や大型タンカーを見ることができ、芝生公園もあつてのんびりした時間を過ごせます。



ひゅうが丼

保戸島のマグロ遠洋漁業の歴史から生まれた郷土料理です。甘い特製のごまだれであえたマグロの赤身をごはんのにせた伝統の逸品です。



高浜海水浴場

四浦半島の先端部にあり、海水の透明度が高く、きれいな砂浜が広がります。ウミガメの産卵場所でもあり、子ガメの立ちを見送ることもできます。

お試し暮らし施設
農村民泊施設もチェック!

大分の 食とおすす め スポット



由布市
yufu



由布川渓谷

自然の神秘が織りなす
峡谷美はまさに天然の
アート。「東洋のチロ
ル」と呼ばれる日本有
数の大峡谷です。



由布の旬野菜 & 豊後牛

地元の素材を生かした体にや
さしい料理は、生産者と料理
人がアイデアを出し合って作る、
今、旬を、一番おいしい食べ
方で味わうことができます。



湯平温泉石畳

放浪の俳人、山頭火も心地
良いひとときを過ごした湯治
場。からんころんと下駄の音
が…懐かしい気持ちに浸るこ
とができます。



地獄蒸し

高温の温泉噴気によって、野菜・
卵・魚介類など、さまざまな食
材を蒸す調理法で、別府の名物
料理のひとつです。



別府公園

別府市のシンボル公園として
整備しており、樹齢約110年
の松が約660本あるほか、ク
ス・桜・モクセイ・椿など約1
10種、4000本の樹木があり
ます。



竹瓦温泉

昭和13年に建設された、唐
破風造の木造建築で、地元
住民も利用する普通入浴、
観光客に喜ばれる砂湯のある
別府温泉のシンボリックな施
設です。



竹田市
taketa

試 民



中島公園 名水河川プール

日本名水百選の水を養沢に
使い続ける市民のための天
然プールです。



白水溜池堰堤 水利施設一構 (通称「白水ダム」)

「日本一美しいダム」と言わ
れ、国の重要文化財に指定
されているダムです。

information

試 …長期滞在・自炊型 民 …農村民泊体験施設あり
お試し暮らし施設あり



豊後大野市
bungo-ohno

試 民



原尻の滝

「日本の滝百選」「大分県百
景」にも選ばれている、幅1
20m高さ20mの大瀑布で、
滝の上を車や人が往来できる
大変珍しい滝です。



豊後牛

恵まれた大自然の中で育ま
れ、輝かしい歴史と実績を持
つ全国ブランド牛。風味豊か
で、まろやかでとろけるよう
な味わいが特長です。



竹田湧水群

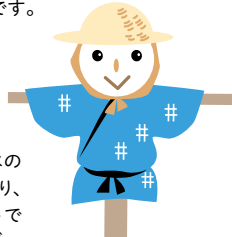
竹田は美味しい湧き水が出
ている所が多く、竹田湧水
群と呼ばれています。中
でも入田湧水は人気があり、
複数個所で湧き水が出てい
る所があります。



用作公園

(ゆうじゃくこうえん)

2つの池を中心に約500本の
楓やモミジが植えられており、
県内屈指の紅葉スポットで
す。週末のライトアップが一
段と美しさを際立たせます。



大分市に

住む。



社長になる夢を
叶えるために
大分市へ移住

美容師として福岡や東京で
経験を積んできた狩生志保さ
ん。「小学生の頃から自分で
事業を始めたいと思つて。
大分市には美容室はたくさん
あるけど、ヘアメイクやシャン



2012年、美容の専門店を
オープンするため、
夫の浩行さん、3人のお子さんと
一緒に福岡市から大分市へ移住。

狩生 志保さん (30)

プーの専門店がなかったか
ら」と、26歳でヘアメイクと
着付けの専門店をオープン
し、大分市で夢を叶えた。
夫の浩行さんはいろいろな
県のまちの雰囲気を見るのが
好きで移住に賛成してくれた。
また、息子さんにもいろい
ろな世界や働き方を知ってもら
いたかったので海外に留学させ
たいと考えているそうで、「イン
ターナショナルスクールが大分
市内にいろいろあつて、教育機
関が充実しているのは、うれ
しい誤算」だった。車の運転は
あまりしないので、バスを利用
する際に本数が少ないと感じ
るそうだが、「普段は家の近く
で買い物しますね。スーパー
が多くて便利だし、お魚がす
ごく新鮮で安くて、食べ物

美味しいって夫も言つて」と。
浩行さんも家事に協力的で
「私の仕事のことをとても理解
して応援してくれていて、夫
には感謝でしかない」と言い、
夫婦仲も円満だ。



狩生さんとスタッフ
(自身の経営するシャンプー専門店の前で)

温かい
お客様に恵まれ
家族のような関係も

平成27年には、「やつてみた
いと思つていた」とシャンプ
ーの専門店もオープン。大分
に移住する前に働いていた美容
室ではスタッフとお客の垣根を
越えることはなかったとい
うが、「大分のお客様は信頼して
くれたら家族のように温かく
接してくれますね。お魚をい
ただいたこともあつたり。」と、
お客との信頼関係も順調に築
いている。「大分市に来たとき
には誰も知らなくて実績もな
かったのに、一緒に働いてくれ
るスタッフがいて、ずっと通つて

くれるお客様もいる。大分市
に来てよかった」。

ゆつくりと
流れる時間。
休日は家族で
お出かけ



海で遊ぶ狩生さんのお子さん

温泉好きなことも大分市へ
の移住を決めた大きな理由
という志保さん、市内中心
部に暮らしているが、「ちよつ
と行けば海や山があつて自然
にも恵まれているのがいいで
すね。毎週、家族で少し遠
出して竹田市の温泉にも行
くんですよ」と、大分暮ら
しを満喫。移住後の感想は
「時間がゆつくり流れている
感じがすね。居心地が良く
て住みやすいけど、ビジネス
はスピード感を持って、全国
に店舗展開していきたい」と
目標に向かって着実に進んで
いる。

仕事探し・住まい探しを サポートします！

大分市内には“大分での就職”を応援するおおい産業人財セ
ンターや、創業を支援する大分市産業活性化プラザがあり、仕事
探しのサポート体制が整っています。また、住まいに関しては、
「大分市住み替え情報バンク」に登録された空き家を購入する場
合や、新築する場合に最大135万円の補助が受けられる制度もあ
りますので、お気軽にお問い合わせください。

大分市役所 商工労政課
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
TEL 097-537-5964 E-mail rousei@city.oita.oita.jp

暮らして実感
大分市はこんなまち
/狩生さんから



移住を希望される方へ

遊びに来ただけでは大分市の良さは伝
わらないので、ショートステイがおすすめ。
どこかと比べるとちょっとずつ負けちゃうけ
ど(笑)、住むにはちょうどいいところです。

お気に入りの場所は？

商店街にある自分のお店の前から見る夕日。春分の日と秋分の日
はアーケード入口の方角ぴったり夕日が沈んでいくのがきれいで、
見に来る人も多いですよ。知らないおじさんと一緒に写真を撮つたり
して、地元の人たちとの一体感に感動しました！

別府市に住む。



別府市に訪れた時の直感で移住を決める

「温泉」と「地獄」が別府のイメージだったという八木みちるさん。旅行で立ち寄ったのも「正直に言うと、湯布院や黒川温泉のついでだった」そうだが、初めて訪れた別府の魅力に引き込まれ、移住を決意するまでに。

「住んでいた栃木になかった海にすごく憧れがあった、

坂の上から一直線に別府湾まで伸びる九州横断道路からの眺めがたまらなく良かったです。まちなみも路地裏やアーケードの商店街など古いものと新しいものが混在する雑多な感じがとても良かったし、人の優しさも移住の決め手でした。海や人、街並みなどいろいろなものが重なって、直感的に「ここだっ！」と移住を決めたという。

八木さんが感じた別府の魅力を周りの人にも知ってもらいたいと、移住前に会社の仲間と一緒に旅行に来るほど別府に「はまった」そう。

交流の場

「コトリカフェ」を

移動販売車でオープン

栃木県では、「お店をつくる、まちをつくらう」という



ワークショップに参加しており、「別府に移住したら地域を活性化できるようなお店をしたいと考えていました。それで、地域の人や観光客の交流の場になるように」と思っ

「と、移動販売の『コトリカフェ』をオープンした。始めた頃は、出店場所を貸してもらったりお店に来てくれたりと、地元の人温かさに助けられた。「困っている人や頑張っている人を応援してくれる感じがありますね」と話

現在では、「さらに別府に根付いた生き方をしたい」と移動販売に加え店舗もオープンした。

別府八湯温泉道名人会事務局長として

別府の魅力を伝えたい！

別府に住んで良かったと感じることは「温泉が入り放題（笑）。風邪をひかなくなった

し、肌の調子も良くなりました」と、地域の人で利用する共同温泉を楽しんでいる。

都会で働いている頃は、コンビニの店員さんと話すだけの日もあったそうだが、「共同温泉では、挨拶から始まり一言二言と会話のふれあいがあるのが良いですね。ただ、入り込み過ぎないように絶妙な距離感も保つてくれるところもあると思います」

一人になりたい時は貸し切り湯に行くなど、気分に合わせて

霧囲気や泉質の温泉を選べるのも別府の魅力だそう。現在では88箇所の温泉を巡った別府八湯温泉道名人会の事務局長も務めている。

「別府の魅力を伝え、旅行に来てくれる人を増やしていきたいです。来れば、好きな人にはたまらない別府の魅力にはまると思うので、移住する人も増えると思います」と地域活動にも頑張っている。



別府八湯温泉道名人会のメンバーと

別府のまちを知る、体験ツアーを実施します！

別府がどんなまちなのか？を知るための体験ツアー（まち歩き、先輩移住者との交流会など）をH29年度に実施予定です。また、「別府市創業支援事業補助金」や「別府市空き家バンク」などの仕事や住まいに関する制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。

Advice & My Favorite



暮らして実感 別府市はこんなまち /八木さんから

休日の過ごし方は？

県外の友人を案内したり、湯めぐりや海の見えるカフェでゆっくり過ごしています。今年から名人会の活動で地域の共同温泉の運営にも携わっています。

市内にたくさん！共同浴場

名人会が運営に携わる「寿温泉」。1Fが共同浴場、2Fは地域の公民館となっており、このようなスタイルの共同浴場が市内にはいくつもあります。

別府市役所 総合政策課

〒874-8511 別府市上野口町1番15号

TEL 0977-21-1122 E-mail pco-pf@city.beppu.lg.jp

臼杵市に

住む。



上村 弘一さん (37)

移住の決め手は
食、子育て、
大分市に近い

2016年に臼杵市に妻の貴子さん、
2人のお子さんと移住し、素材や酵母にこだわった
パンづくりで充実した日々を送っている。



臼杵でパン屋『UMURA
BREAD』を経営する上村さ
んご一家は、平成27年度移住
希望者向けモニターツアーに参
加後、翌年に名古屋市から移
住。素材や酵母にこだわったパ
ン屋の経営を軸とした生活が
できる場所として、臼杵を選

んだ決め手が「食、子育て、大分市に近い」こと。さらに、「臼杵市は有機農業を推進し、新鮮で安全な食材が身近にあること。また、小学校の給食は器からこだわり、市内の有機野菜を使っているなど、食育に対する意識も高いことに驚きました」と加える。大分市に近いことで経営や人の繋がりが日々広がっている。

パンや生活を通して
人が繋がる暮らし



臼杵の人の印象は「まじめで誠実な人が多いイメージ。人間らしく生活できる環境があるため、生きていくことに力強い」と感じている。また、グリーンツーリズム団体に加盟して農泊の受け入れも始め、親子で国内外の方との交流を楽しんでいる。移住前に比べ、時間に追われずにマイペースに生活ができ、地域との付き合いがポジティブな成長へと繋がっているとのことで、今後は

ライフスタイルを確立していくことを目標に、充実した日々を送っている。



高松 賢さん (46)

きっかけは
家との出会い、
人の繋がりが

自然農に打ち込むため2016年に妻の美穂さん、
2人のお子さんと岡山市から移住。
現在は農泊の受け入れも行っている。

震災後、関東から岡山を経由して、臼杵市に移住した高松さんご一家。自然農に打ち込む場所を探していたところ、臼杵市の平成27年度移住希望者向けモニターツアーを見つけて参加。ツアーの間、事前にインターネットで気にかけていた物件を見学したところ、すぐに気に入って、近くに住むグリーンツーリズム団体の農泊家庭の方が仲介役となって、とんとん拍子で移住に繋がった。

ちようど良い田舎生活

臼杵市のことはほとんど知らなかったこともあり、「大

分の穴場」というイメージ。移住後は「田畑や豊かな自然があり、子育てや農業をするにはちようど良い場所。色んな野菜が作れるように」と『そよふく農園』で自然農に打ち込み、充実した日々を送っている。子供達が通う小学校や地域の皆さんが自分達を受け入れてくれて、人の繋がりが温かさをとても感じているという。また、「グリーンツーリズムに関わる方々がとても生き生きとしているし、市役所の職員も身近で親切に接してくれる」と、すっかり地域に馴染んで人との関わり合いを楽しんでいる。そんな高松さんも現在はグリーンツーリズムの農泊家庭として、市内外の子供達や移住希望者を中心に受け入れを始めた。



暮らして実感
臼杵市はこんなまち
/市の担当者から

子育て環境は？

- 保育所(園)は待機児童ゼロ。
- 地元産の安全で新鮮な野菜を学校給食で提供する『給食畑の野菜』で子どもたちの健全な育成を目指しています。



親子で遊ぶところは？

臼杵地域と野津地域の公園をリニューアルしました。休日には、市内外からファミリーが訪れて賑わっています。『リーフデわんぱーく(臼杵市総合公園内)』の長いローラー滑り台はスリル満点ですので、お父さんお母さんも、ぜひお子さんと一緒に体験してください！

移住モニターツアー、
おためしハウスで臼杵時間を体感！

ゆっくりと臼杵に滞在して、臼杵の雰囲気や魅力を味わえるように、モニターツアーや、おためしハウスを準備して、皆さんのお越しをお待ちしています。レンタカー費用の補助や、若年・子育て世帯への家賃補助など、移住・定住の支援を充実させています。また、登録急増中の空き家バンクの物件にご案内しますので、ぜひ、臼杵にお越しください。

臼杵市役所 秘書・総合政策課
〒875-8501 臼杵市大字臼杵 72 番 1
TEL 0972-63-1111 E-mail kyoudou@city.usuki.oita.jp

Advice & My Favorite

津久見市に

住む。



運命的な 津久見市との出会い

大学の農学部で動物学を専攻した松本智也さん、卒業後に働いていたペットショップを退職し、どうしようかと考え



ていた時に大きな転機を迎える。「実家が津久見市でみかん園を営んでいる方と出会い、津久見でみかんづくりをやらないか誘われたんです」
実家の家庭菜園でおぼろちやんが野菜を育てており、農業に興味があったという松本さん、「やってみたいと思った」と津久見市への移住を決めた。



津久見市でみかん栽培を始めるため2014年に横浜市から移住。歴史ある津久見みかんの復活に向け日々奮闘中。

Matsumoto's Profile

松本 智也さん (29)

不安な気持ちから 充実した暮らしへ

移住前は、「農業が軌道に乗り収入が安定するまで時間が掛かるのでは？」と不安もあつたそうだが、雇用した新規就農者の研修経費を助成する国の制度を活用することで、安心して勉強しながらみかんづくりに専念できている。

「研修では、津久見で「みかんづくりのレジエント」と呼ばれる方に教わりました。80歳を超えてまだまだ勉強中とおっしゃっているすごい方で、自分も頑張らないと、つて思いました」と日々、奮闘している。
移住当初は「すぐにあきらめて神奈川県に帰るだろう」という周囲の目を感じたことや、方言がわからず苦労したこと、もあつたという。しかし、みかんづくりに打ち込むことでだんだんと『本気でみかん農家として頑張る若者なんだ』と認められ温かく歓迎されているそう。



市主催のふるさと振興祭へ参加

津久見みかん復活と まちづくりへの取組

みかんの先祖木が現存し、甘夏発祥の地でもある津久見市。みかん栽培の歴史がある一方で、担い手の減少が深刻な課題となっている。

「昔は見渡す限りみかん畑が広がっていたそうです。そんな「津久見みかん」を復活させたい」と農地拡大に意欲的、「歴史ある津久見の名に恥じないみかんを作っていきたい」と熱く語る。休日は同年代が集まるまちづくりグループの副会長としてイベントを企画するなど賑わいづくりに向けた活動も行っている。さらに津久見市の活性化事業にも携わっており、まちづくり組織の一員として広域的な津久見全体の底上げにも取り組んでいる。

移住補助金や空き家バンクなど 移住定住に関する制度の活用を！

津久見市へ移住される方に対して、仲介手数料、家財処分費、新築費、住宅の購入費、引越費用に対する補助金と移住奨励金を準備しております。移住を考えられている方は事前に一度ご連絡ください。また、「津久見市空き家バンク制度」も行っております。物件等詳細については、津久見市移住定住ポータルサイト「つくみ de Life」をご覧ください。

津久見市役所 政策企画課
〒879-2435 津久見市宮本町20番15号
TEL 0972-82-2655 E-mail tsu-seisaku@city.tsukumi.lg.jp

暮らして実感 津久見市はこんなまち

松本さんから

休日の過ごし方は？

電車で大分市に買い物に行ったり、DVDを借りて家で映画鑑賞したりと、好きなことをのんびりと過ごしています。また、同年代の仲間とイベントを開催して楽しんでいます。



お気に入りの場所は？

子どもに大人気のつくみん公園です。工場と海の景観が良く、芝生広場も広くてゆっくりできるのでとても気持ち良く大好きです！たまに弁当を買ってきて昼食を食べることもあります。

Advice & My Favorite

竹田市に住む。



手厚く、

親身な竹田市の

移住サポートが決め手

竹田市で藍染の染色工房「紺屋そめかひ」を営む辻岡快さん。福岡県で生まれ育ち、



Tsujioka's Family

辻岡 快さん (39)

妻の由紀子さん、お子さんと2013年に竹田市に移住。有機農法で育てた藍と伝統の天然原料を使う染色工房を営む。



大分県立芸術文化短期大学で日本画を専攻していた頃に出会った藍染めの魅力に惹かれ、卒業後は染色の道へ。約13年間、廃校になった大分県内の小学校を活用して染色工房を構えていたが、小学校が利用できなくなり移住を検討し始めた。「空き家バンク」という制度が竹田市にあると聞いて登録しました。それから約半年もの期間、毎週のように竹田市に通い、工房としても使える住居と藍を栽培できる畑を探しましたが、市の担

当職員の方がいつも親身に相談のつてくれました」。

希望に合った工房兼用の住居と畑が見つかり、補助金等のバックアップを市から受けられることになり、竹田市への移住を決めた。

移住後の生活では「苦労したことは全くない」と話し、①自然環境が豊かで温泉もあり田舎暮らしを実現する環境としては言うことなし、②食べ物や水が抜群に美味しい、③移住者の先輩や市の職員などサポートしてくれる仲間が多い、と3つの理由を挙げる。

移住して5年目を迎え、今では先輩として移住希望者のサポートをしており、市の職員が移住希望者を竹田市内に案内する際は、必ずと言って良いほど辻岡さんの工房へ立ち寄る。親身になって移住のアドバイスをする辻岡さんは、竹田市の移住政策の陰の立役者でもある。

藍畑と藍染めの技術を竹田市で広げたい

夫婦で営む工房も年を追うごとに忙しさが増しており、一年かけて藍染めの技術を学

べる「そめ塾」は、受講枠が満員になるほど盛況だ。新商品の製作にも力を入れており、オープン当初は手ぬぐいをメインに販売していたが、今では衣服や鞆等も加わり充実している。

「今後は生活の中で使える現代に見合った商品を製作していきたいと考えています。昔から日本人に愛されていた藍が最近では使われなくなっていますが、藍を身に付けることによつて『日本人であること』を再認識してもらえたらと思います。藍染めの技術や藍の栽培を、このまちで受け継いでもらえるように、これからも頑張りたい」と語る辻岡さん。移住に興味のある方は、ぜひ一度訪れてみてほしい。



移住サポートは充実しています。移住のことなら、竹田市にお任せください！

竹田市として全国に先駆けて「農村回帰」をテーマに、移住・定住政策を推進し、これまでに250名以上の移住を実現させました。特徴としては、「若者」「アーティスト」の移住が多いです。平成27年度からは、従来の「空き家改修補助金」等の他に、「Uターン促進住宅取得・住宅改修事業補助金」と「三世代同居等定住支援事業補助金」を創設し、あらゆる移住に対応できるよう努めております。

竹田市役所 企画情報課 農村回帰推進室
〒878-8555 竹田市大字会々1650番地
TEL 0974-63-4801 E-mail nousonkaiki@city.taketa.lg.jp

暮らして実感
竹田市はこんなまち
/辻岡さんから/



おすすめのイベントは？

毎年11月に行われる「竹楽」というイベントを楽しみにしています。竹を切り、灯を灯しただけのシンプルな竹灯籠が、城下町中に並ぶ風景に感動します。

お気に入りの場所は？

市内の神原(こうばる)という地区にある川です。釣りが趣味なので、エノハ(ヤマメ)を釣りに出かけます。



田舎で子どもをのびのび育てたい、と東京都町田市から移住した猿田さん一家。

豊後大野に住む。

Saruta's Family

猿田 正道さん (51)



安心便利な
程良い田舎に
魅力を感じ、
豊後大野市へ

庭でキャッチボールできる田舎で子育てがしたいと、2015年に妻の千音さんと3人のお子さんと東京都町田市から移住。

ご家族の趣味のスキーが楽しめて、「災害に遭いにくい、安心で便利な田舎」を探していた。「九州にもスキー場がある」と知り、災害に強いかをハザードマップで確認しました」と正道さん、きれいな水と新鮮な野菜という食の安全に恵まれ、スキー場に車で1時間半圏内の豊後大野市へ移住を決めた。その後、正道さんのご両親、千音さんのご両親も豊後大野市に移住し、今では3世代が仲良く近居している。

のびのびと遊べる庭 動物とのふれあい

念願の庭でのキャッチボールを楽しめるようになり、夜には満天の星空に天の川を楽しめるロケーション。「東京で遠出をして楽しんでいたキャンプも行く理由がなくなってしまう(笑)」と贅沢な悩みも。子どもたちの新しいチャレンジを探したところ、近くの総合運動公園内に乗馬クラブを発見。厩舎の掃除を手伝いながら毎週の乗馬レッスンを月2千円で受けられると知りさっそく申し込みに定住した。

Hori's Family

堀 彰太さん (42)

農業研修制度を受けた後、そのまま定住

2012年から2年間、豊後大野市で妻の由佳さんと一緒に農業研修を受けそのまま移住。2人のお子さんに恵まれ農業に励んでいる。

だ。近所ではイタチ、アナグマ、イノシシ、鹿などの野生動物にも遭遇。「大自然の中で子どもの生きる力や才能を伸ばしたい」と話す。



子どもと過ごす時間が増えたことが一番」と彰太さん。農業が一段落した平日には車を1時間ほど走らせ、温泉や大分市のショッピングモールに行ったり、自然動物公園「アフリカンサファリ」で動物とのふれ合いも楽しんでいる。農家として独立した今も「ワクワクした気持ちでいっぱい」と夫妻で話す。彰太さんは「大変なこともあるけど、規模を広げ充実した生活」と「儲かる農業」の両立を実現したい、由佳さんは「移住前に教えていた英会話教室を開き、もともと地域に馴染んでいきたい」とお互いの夢に向かっていく。

暮らし実感
豊後大野市はこんなまち
／堀さんから／

びっくりしたことは？

移住前は不便なイメージがありましたが、実際は大分市へ車で1時間弱で行けるし、郊外のショッピングモールなどもあり、気軽に買い物に行けるので安心しました。

移住を希望される方へ

住む場所や環境は向き不向きがあると思いますが、豊後大野市は住み慣れれば本当に住みやすい土地です。車は必需品です。地域イベント等に積極的に参加すると人との繋がりができ、輪が広がるので、より快適な生活が遅れると思います。

定住促進補助制度が充実!!

田舎暮らしや移住を検討中の方は、まずお試し滞在施設に足を運んでこのまちの空気を感じてみて下さい。日本ジオパークに認定された自然景観と、それに培われた生活文化・新鮮野菜満載の豊後大野市。定住促進補助制度により、持家取得助成金や引越し補助など、合計最大195万円の補助が受けられる移住支援もありますので、お気軽にお問い合わせください。

豊後大野市役所 まちづくり推進課

〒879-7198 豊後大野市三重町市場 1200 番地

TEL 0974-22-1001

E-mail d102010@city.bungoono.lg.jp

由布市に住む。



素敵な湯平を娘の故郷にしたい



湯平温泉に宿泊した際に、近くを流れる川のせせらぎ、石畳の細道や小さな共同浴場といった日本の湯治場らしい趣に、どこか安心できる懐かしさを感じ「こんな場所が娘の故郷になったら素敵！ってビビッときた」と、移住にむけ住まいを探し始める。

どんな家に住みたいかイメージしたのは「湯平温泉に近くて、川を流れる水音が聴こえること。内装も自由にできる倉庫付きの平屋で、地域の人に愛され守られた場所にある家がいいな」。イメージどおりの家が見つかるまで時間がかかるかもと覚悟していたそうだが、「なんとあつたんですね、ぴつたりの家が。その隣には大きなお地蔵様もい

らっしゃって(笑)、運命的なものを感じて迷わず移住を決めた。

熊本市中心部に住んでいた真紗美さん、移住後の日々の買い物や病院の事が少し不安だったそうだが、生協(グリーンコープ)が配達に来るので買い物には困っていないという。きれいな水と空気、新鮮で美味しい食、そして湯平温泉の湯治効果で病院に行く事も減るような気がしているそう。「便利すぎるよりも少し不便な方が、創意工夫や計画性のある生活ができていいな。つづきました」と語る。

近所の温かさや大自然を体感して伸び伸びと

移住後は育児や片付けに忙しい日々が続いたが、赤ちゃんが来たことを地区の皆さんがとても喜んでくれて、安心して生活を始めることができたそう。いつも気遣っていたら、娘も可愛がつくれます。玄関に野菜が届いていることが時々あつて、とても感激しました。皆さん野菜を育てるのがすごく上手ですね！」

休日は温泉や水汲みに行ったりと車で出かけることが多い



日本名水百選 男池湧水群

由布市は「九州でも特に四季が深く、日本の美の象徴、まさに田舎暮らしの理想郷だ」と思う。誰もが懐かしくなるようなふるさと姿が残っている。それと、身近に温泉のある生活が「人生で最も贅沢な暮らしだなあ」と痛感しています」と話す真紗美さん、これからの目標に「母として、空間作家として、娘のふるさととなる湯平温泉を未来に美しく遺すお手伝い」も加えている。

湯平は最高のキャンパス

く、「どこへ行くにも絶景の大自然、渋滞にも無縁でドライヴが最高に気持ちいい。子ども目線でも自然を体感できることへの幸せを日々感じています。次はどこに行こうかと娘と計画を立てるのが楽しいです」。

暮らして実感 由布市はこんなまち

橋本さんから

移住を希望される方へ

観光ガイドに載っていない素敵な景色や隠れた名所がたくさんあります。四季折々の違いも見つめながら、何度でもドライブに来てみて欲しいですね。

びっくりしたことは？

冬に家の前が一面の雪景色になっていたことです。一夜にして世界が一変するんですから娘もびっくりですね。湯平の雪景色は本当に美しいです。

休日の過ごし方は？

近隣のまだ行ってない温泉や水汲み場に行ってみたり、どこに行くにもドライブが最高に気持ちいいので、日々わくわくして娘と予定を立てています。あとは、家の改装や、子どものおもちゃ作りなど日曜大工も楽しんでいますよ。

空き家の紹介・案内、改修費用の補助もご利用できます！

由布市では、市内の空き家の登録、紹介を行い、居住者を探す「空き家バンク制度」を実施しています。なお、ご登録に費用等は掛かりませんので家をお探しの方は是非ご利用ください。また、空き家バンク制度を活用してご契約いただいた場合には、契約時に発生する仲介手数料の助成金とリフォーム工事費用の補助金もご利用いただけます。

ゆふ移住交流センター 星とぴあ TEL 097-574-9356
由布市役所 総合政策課 TEL 097-582-1111 (内線1244)
〒879-5498 大分県由布市庄内町柿原 302 番地

Hashimoto's Family

2014年に娘さんと一緒に温泉地である由布市の湯平地区に移住。四季の自然を感じながら空間作家として活動している。

橋本 真紗美さん (34)

住む。日出町に

interview
08



村尾 宏さん (61)
宣子さん (61) 夫妻

車の免許を
持っていない、
でも思ったより
便利な日出町



宣子さんの伯母さんの介護
サポートのため、東京都世田
谷区から移住した村尾さん

東京都世田谷区から2016年に移住し整体院を開業。
「NPO 法人おばあちゃんの知恵袋の会」の活動にも携わっている。

夫妻。空き家バンクで見つけた古民家を一目で気に入り、すぐに大家さんと交渉して移住したそう。

公共交通機関が充実した東京で暮らし、車を持たない村尾さん、移住前は「田舎暮らしは車がないと大変」と不安もあったが、実際に暮らすと「車がなくても思ったより便利!」とイメージが一変。日々の買い物は電動アシスト自転車を使い「買い物への移動時間も東京とほとんど変わらず、不便と感じる事もないですね」と明るく話す。

めまぐるしさから離れた
「地に足がついた」生活

日出町で過ごす初めての年末年始は近所の方に誘われ餅つきやしめ縄づくり、初詣にお参りした神社では地域の人の会話が楽しくて1時間以上もおしゃべりして、「地元の人たちとの交流を通じて、日出町にはそれぞれの文化があり、素敵な人が多いと感じた」そう。

休日は趣味の陶芸づくりや、野草摘みで過ごす。「東京で摘むのと違い、自然に恵まれたここの野草は本物だ。都会のめまぐるしさ

から離れて地に足がついた感じがします」と村尾さん。自身が経営する整体院やNPOの活動を通して「人の幸せはちよつとしたきつかけで変えられることを伝えていきたい」と今後の目標を語る。



岡崎 真悟さん (37)

温かい
ご近所さんに
囲まれ
日出町で
新婚生活を
スタート

結婚を機に日出町へ移住し、空き家バンクで見つけた一軒家で新婚生活を送っている。
海に近いカフェで飲むお茶がご夫妻のお気に入り。

町の中心部から車で15分程度、高台にある住宅地からは別府湾を一望する景色が広がる。結婚を機に新居を探していた岡崎さん夫妻は、そんな場所に建つ一軒家を借りて新生活をスタートした。

当初は不安だったご近所づきあいも、何かと気遣ってくれるご近所さんに囲ま

れ順調そう。

住んでみてわかる
良いところがたくさん

休みの日は絵を描いたり、趣味の家庭菜園や家のDIY、湯布院へドライブと「良い意味で忙しく、生活が明るくなった」と楽しそうに笑う。移住前の日出町のイメージは「別府市や大分市に行く途中で買い物をするくらい」だったそうだが、「町全体が明るい雰囲気での生活の利便性も高いですね、人も温かいです。海に近いので別府湾と街並みの夜景がきれいに見えるんです」と、住んでみて初めて感じる良いところがたくさんあるそう。家を理想の形に仕上げ、これからは日出町に住み続けたいとDIYに頑張っている。



暮らして実感
日出町はこんなまち
/岡崎さんから

移住を希望される方へ

移住先の良さや不便さなどは、住んでみないとわからないため、一度滞在してみることをお勧めします。また、移住先である物件はお気に入りのものが見つかるまで探したほうが良いです。

びっくりしたことは？

自宅から別府の花火が見えたことです。あと、ある日仕事から帰ると玄関前に大量の野菜が置いてあった。地元の人が置いてくれたようですが、最初はびっくりしました(笑)。

移住者向けの施設を新しくオープン!

移住後の日出町での暮らしを具体的にイメージしてもらうため、「お試し移住体験施設」と「移住相談ができるカフェ」が平成29年度にオープンします。

また、空き家バンク制度や県外からの移住者への補助などの移住者支援制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。

日出町役場 政策推進課

〒879-1592 速見郡日出町2974番地の1

TEL 0977-73-3116 E-mail seisaku@town.hiji.oita.jp

Advice & My Favorite

「大分市」

会に行ける。
アイドル(サル)がいる。

高崎山自然動物園ではかわいい野生のサルをすぐ近くで見ることが出来ます。サルの総選挙も実施しており、人気の子ザルに会いに行けば、癒されること間違いなし。



「別府市」

1 別府の道案内は上、下？

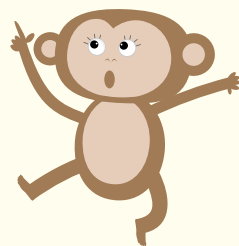
道順を説明するとき、東側(海側)、西側(山側)へ曲がることを、東西で表現せず、上(山側)、下(海側)といっています。別府市の地形ならではの表現です。

2 マイカーに必ず積んでいる必需品はコレ!?

温泉好きの多い別府市民の車には石鹸・シャンプーなどの温泉セットが積んであるらしい。今日はどこの共同浴場へ行こうかなあ



なるほど! おおいた



「津久見市」

1 いろいろな品種のみかんが楽しめます

津久見市といえばやっぱりみかん。津久見市発祥の甘夏や、ミカンを代表する温州みかんなど、季節によって特徴の違いみかんを味わうことができます。



2 各種イベントに市の人口以上のお客さんが訪れます

夏の風物詩である納涼花火大会や早春に咲き乱れる河津桜など、津久見を代表するイベント時には津久見市民総人口(約18000人)の倍以上の観光客でにぎわいます。

「由布市」

渋滞なし!?
信号も少ないので移動はスイスイ!



信号が少ないので、車で30分以内の範囲は近所です(笑)

「豊後大野市」

1 伝統芸能が盛ん!

いろいろな伝統芸能の中でも「神楽」は16社保存会があり、年間を通して、市内あちらこちらで、笛や太鼓の音が鳴り響いています。

2 「○○の神様」がいる!

大分の代表的な特産品、「乾しいたけ」。量、質とも日本一、いや世界一を誇っている豊後大野市の生産者には、全国乾椎茸品評会において農林水産大臣賞等を過去15回以上受賞されている「椎茸作りの神様」といわれる、まさに「レジェンド」がいます。



「臼杵市」

子どもの挨拶がすごい!

通りすがりの見知らぬ人にも大きな声であいさつをするので移住した方はみんなびっくりします。

「竹田市」

よく間違えられます

①

「竹田」の読み方は、「たけだ」ではなく「たけた」です。

TAKETA



よく間違えられます

②

「天空の城」で有名な「竹田城」は竹田市にあると思われがちですが、竹田城は兵庫県朝来市にあります。

しかし、竹田市には滝廉太郎の「荒城の月」がモチーフになったと言われている「岡城址」があります。

「日出町」

おいしい水、湧いています!

ミネラルが溶け込んだ湧水を求めて山田湧水や観音の水など水汲み場には、地元の人はもちろん、近隣からもたくさん水汲み客が空の容器やペットボトルを持って訪れます。

また、良質な飲み水や自然に囲まれた住環境を求め、勤務地は日出町外、住まいは日出町という人がいます。